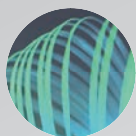


SCIENCE, AND
SME



名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部 (旧 URA 室)
アウトリーチ活動報告書 2013



SAKAE
ScienceTalk
さかえサイエンストーク

名古屋大学
オープンレクチャー^{**}
2013 Nagoya University Open Lecture

科学 教育 社会 連携

INDEX 目次

■目次	2
■名古屋大学 学術研究・産学官推進本部（旧 URA 室）、アウトリーチの取り組みについて	3
■名大カフェ “Science, and Me”	4
■名古屋大学オープンレクチャー 2013	6
■秋の名古屋大学オープンレクチャー 2013	8
■名古屋スペースキャンプ 2013NSC-2	10
■市民向け講演会 先端科学技術と社会	11
■さかえサイエンストーク	12
■学外アウトリーチ活動、その他	13
■展示会への出展実績	14

名古屋大学 学術研究・産学官推進本部（旧 URA 室）アウトリーチの取り組みについて

平成 22 年 6 月 19 日付で内閣府から示された、『「国民との科学・技術対話」の推進について（基本的取組方針）』の趣旨に基づき、大型研究費を受けられた研究者は国民に対してアウトリーチ活動を果たすことが求められております。研究費からアウトリーチ活動に関する費用を支出することも認められるようになっております。

従来は、個々の研究室や部局単位の自助努力等によって研究成果発信が進められていましたが、名古屋大学でも、双方向コミュニケーションを基本としたアウトリーチ支援が出来るように努力してまいりました。

平成 23 年度には、研究支援課で「オープンレクチャー」と題した取り組みを始めました。産学官連携推進本部では科学技術振興機構（JST）の支援を受けて、地域の各機関と連携し、サイエンス・コミュニケーションの場と仕組みを提供し、「あいちサイエンスフェスティバル」では愛知県全域でサイエンスイベントが開催しています。

平成 24 年度からはリサーチ・アドミニストレーション室（URA 室）が本格的に始動しました。URA 室では「オープンレクチャー」と平成 22 年度から社会貢献人材育成本部で開催していた「名大カフェ」の運営を行い、産学官連携推進本部とも連携しながら、アウトリーチ活動の支援を始めています。平成 26 年 1 月からは産学官連携推進本部、研究推進室、URA 室が合流し、新たに学術研究・産学官連携推進本部が発足し、地域連携・情報発信グループを中心にアウトリーチ活動を行っています。

平成 25 年度は産学官連携推進本部と合わせて 28 回のアウトリーチイベントを開催し、のべ 40 名の名古屋大学研究者がイベントに参加しました。

SCIENCE, AND SMILE

名大カフェ “Science, and Me”

2013年4月10日(水)

Fleuve cafe フルーヴカフェ

<https://aichi-science.jp/880>

ビューティフルライフ - “健康に生きる” 整形外科医からの提言 -

ゲスト：内田淳正氏 (三重大学 学長)

住所：名古屋市中村区名駅5丁目28-1名駅イーストビル1F



来るべき超高齢化社会をテーマに整形外科医の内田さん(三重大学学長)の提言を紹介。健康に生きるため運動や生活習慣の大切さとそれを助ける整形外科の役割についてお話ししました。

2013年6月3日(月)

Fleuve cafe フルーヴカフェ

<https://aichi-science.jp/1002>

リモートセンシング～宇宙から地球の素顔を見る～

ゲスト：山口靖氏

(名古屋大学 大学院環境学研究科 地球環境科学専攻 教授)

住所：名古屋市中村区名駅5丁目28-1名駅イーストビル1F



今回の名大カフェは第29回宇宙技術および科学の国際シンポジウムとの連携イベントとして開催されました。東日本大震災での被害状況の把握や植生の調査など広域観測が比較的楽に出来るリモートセンシングの特徴についてお話ししました。

2013年8月15日(木)

三井住友銀行 SMBC パーク 栄

<https://aichi-science.jp/1075>

21世紀を拓くナノ炭素の秘密

～フラーレン、カーボン、ナノチューブ、グラフェン～

ゲスト：篠原久典氏 (名古屋大学 大学院理学研究科 教授)

住所：名古屋市中区錦3-25-20



英国科学実験講座を記念して開催。実験講座に参加し炭素の秘密を紹介した篠原さんが登場。炭素の新しい構造をわかりやすく紹介しました。新しい素材として注目されるカーボンナノチューブ、フラーレン、グラフェンの特徴や発見について紹介。グラフェンの薄さを見る実験も行いました。

2013年5月15日(水)

三井住友銀行 SMBC パーク 栄

<https://aichi-science.jp/911>

植物の巧みな環境応答 ～スーパー植物の可能性～

ゲスト：木下俊則氏 (名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所 (ITbM) 教授 / 理学研究科 生命理学専攻 植物生理学グループ)

住所：名古屋市中区錦3-25-20



名古屋大学に新設された WPI 拠点から木下さんが登場。理科の教科書でおなじみの気孔のメカニズムについて最新研究を紹介。顕微鏡で気孔を観察したり、サーモグラフィーで植物の温度分布を観察したりと、研究が体験できるサイエンスカフェとなりました。

※あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク「国際植物の日」月間

2013年7月10日(水)

Fleuve cafe フルーヴカフェ

<https://aichi-science.jp/1034>

いまどきの霧箱の実験で素粒子などを観測

「見えないけれどそこにある??」

ゲスト：中村光廣氏 (名古屋大学エコトピア科学研究所 教授)

(大学院理学研究科、現象解析研究センター兼任)

住所：名古屋市中村区名駅5丁目28-1名駅イーストビル1F



素粒子・ニュートリノ研究で先端を拓く中村さんが登場。参加者は簡単な材料で素粒子を観測できる「霧箱」で実験しました。霧箱に浮かぶ粒子の軌跡を観測しながら、中村さんの先端の観測技術と産業への応用についてのお話ししました。

2013年9月27日(金)

ジュンク堂書店ロフト名古屋店7階ブックサロン

<https://aichi-science.jp/1154>

“もの” を分ける 新たな技術をめざして

ゲスト：岡本行広氏

(名古屋大学 革新ナノバイオデバイス研究センター 特任講師)

住所：名古屋市中区栄3-18-1 ナディアパーク内



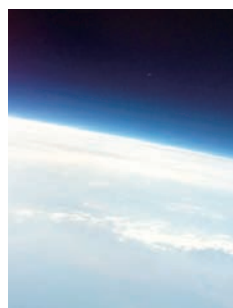
ものを分けるをテーマにナノバイオデバイスの技術を岡本さんが紹介しました。小型のナノデバイスを見ながら今後の応用について話をしました。参加者全員に応用について質問してみたところ、医療分野での応用に強い期待を示していました。さらなる研究開発に期待します。

科学が進歩する昨今、より豊かな社会生活を行っていく上で、科学技術の知識が必要となっていますが、科学の進歩に伴い専門家と市民との間で考えかたや知識の差が大きくなってきています。そのため、デートや友達と行きたくなるようなおしゃれな雰囲気、専門家を囲みながら、科学を気楽に楽しむコミュニケーションするサイエンスカフェとして、「名大カフェ “Science, and Me ”」と名付けて 2010 年 7 月から名古屋市の繁華街で開催しています。

2013 年 10 月 14 日 (月・祝) ジュンク堂書店ロフト名古屋店 7 階ブックサロン
<https://aichi-science.jp/1206>

蒲郡発! 宇宙から地球を観る～気象観測バルーンで飛んだ iPhone ～

ゲスト：坪木和久氏 (名古屋大学 地球水循環研究センター 教授)
 佐原理氏 (名古屋文理大学 情報メディア学部 助教)
 住所：名古屋市中区栄 3-18-1 ナディアパーク 7F



海外ニュースでも話題に取り上げられた、蒲郡から気象観測バルーンを上げて、地球を眺める「アノマロ宇宙へ行く」。打上げに協力した名古屋大学の坪木さんと企画した名古屋文理大学の佐原さんが観測映像を見ながら大気圏やイベントについて紹介しました。

※さかえサイエンストーク W ネーム開催

2013 年 12 月 20 日 (金) ジュンク堂書店ロフト名古屋店 7 階ブックサロン
<https://aichi-science.jp/1572>

新触媒で脱石油化学に挑む!

ゲスト：斎藤進氏 (高等研究院および大学院理学研究科 准教授)
 住所：名古屋市中区栄 3-18-1 ナディアパーク 7F



ノーベル賞受賞者の野依教授の伝統を引き継ぐ斎藤進さんが登場。先端の触媒研究と成果について紹介しました。脱石油を果たすための高度な触媒技術を知ることが出来ました。今後のエネルギー問題解決に向けた触媒開発に期待します。

2014 年 2 月 19 日 (水) ジュンク堂書店ロフト名古屋店 7 階ブックサロン
<https://aichi-science.jp/1619>

農業を経済学で理解できるか

ゲスト：生源寺眞一氏 (名古屋大学大学院生命農学研究科 教授)
 住所：名古屋市中区栄 3-18-1 ナディアパーク 7F



生命農学研究科の生源寺さんが登場。農業と経済の切り離せない特殊な関係である事、本当に日本が上げなければいけない自給率とは何か?日本の農業を支えるコミュニティのあり方についても考える機会となりました。参加者の方も農業を見る目がか変わったようです。

2013 年 11 月 20 日 (水) ジュンク堂書店ロフト名古屋店 7 階ブックサロン
<https://aichi-science.jp/1495>

石彫から読み取る –オルメカからマヤへ–

ゲスト：伊藤伸幸氏 (名古屋大学 大学院文学研究科 助教)
 住所：名古屋市中区栄 3-18-1 ナディアパーク 7F



文学研究科から伊藤伸幸さんが登場。メソアメリカ (中米) 史をどのように研究しているのかを紹介しました。石彫の版画を観ながら、どのように文字を読み解くのかについて詳しく話を聞くことができました。

2014 年 1 月 29 日 (水) ジュンク堂書店ロフト名古屋店 7 階ブックサロン
<https://aichi-science.jp/1600>

どうして「もの」はくっつくか?–接着の科学をひもとく–

ゲスト：田嶋聡美氏
 (名古屋大学プラズマナノ工学研究センター 特任准教授)
 住所：名古屋市中区栄 3-18-1 ナディアパーク 7F



接着をテーマにプラズマが切り開く接着技術について田嶋さんがお話ししました。接着とは何か、接着する表面の状態の大切さなどを詳しく紹介。実際に接着する実験も行うことによって、接着剤の性質の違いも理解できました。

2014 年 3 月 26 日 (水) ジュンク堂書店ロフト名古屋店 7 階ブックサロン
<https://aichi-science.jp/1653>

「逃げる」と「追う」の数理

ゲスト：大平徹氏 (名古屋大学大学院多元数理科学研究科 教授)
 住所：名古屋市中区栄 3-18-1 ナディアパーク 7F



数学は実社会でどの様に生かされているか知っていますか。経済を含め、様々な分野で活躍する数理モデル。今回は多元数理研究科の大平さんに「逃げる」と「追う」の数理と題して、集団行動を数学でどの様に読み解くのかをお話ししました。

秋の名古屋大学 オープンレクチャー2013

名古屋大学の研究者が行っている
様々な分野の最先端研究を紹介しました。

【概要】

- ◎タイトル 秋の名古屋大学オープンレクチャー 2013
- ◎対象 一般 (主に高校生)
- ◎日程 9月23日 (月・祝)
- ◎参加者数 169名 (申込者数 201名)
- ◎クラス数 7クラス

【実施体制】

主催 リサーチ・アドミニストレーション室
(イベント企画・運営管理・チラシ作成・広報)
研究支援課 (事務手続き・イベント支援)
広報室 (Web サイト作成、大学概要紹介、広報支援)

【当日スケジュール】

- 15:00~15:15 大学概要説明ほか (理学南館 坂田・平田ホール)
- 15:30~17:00 公開講座

【公開講座一覧】

- ◎生田博志氏 夢の技術を叶える超伝導のはなし
- ◎石原一彰氏 大発見・大発明に大切なセレンディピティーのはなし
- ◎大島義和氏 日本語のコミュニケーションと文末表現のはなし
- ◎加藤竜司氏 再生医療と薬のはなし
- ◎澤田均氏 動物と植物の生殖のはなし
- ◎澤博氏 未来を拓く新機能性材料の開発のはなし
- ◎徳丸宗利氏 最近の太陽黒点と宇宙天気のはなし



名古屋大学の研究者が、一般の方を対象に研究をわかりやすくお話しします。少人数の講義スタイルで、大学が、研究者が、最先端研究が身近に感じられるこの機会に、ぜひご参加下さい。

Nagoya University Open Lecture



名古屋大学概要説明



春に開催し好評だった名古屋大学オープンレクチャーを今年度は9月23日 (月・祝) にも開催しました。今回も名古屋大学の先端研究について少人数の講義スタイルで紹介しました。大学概要説明では國枝副総長の挨拶の後、広報室から最近の大学のトピックスについての説明がありました。

夢の技術を叶える超伝導のはなし

講師：生田博志氏 (名古屋大学大学院工学研究科 教授)



リニア新幹線、病院での画像診断装置などに応用されている超伝導の先端研究を紹介。超伝導の基礎から応用までを、実験を交えて紹介しました。超伝導のしくみや産業化について学ぶことができ、参加者からは「産学共同研究の推進と産業化を図るべき。」などの意見がありました。

大発見・大発明に大切なセレンディピティーのはなし

講師：石原一彰氏（名古屋大学大学院工学研究科 教授）



大発見・大発明に大切なセレンディピティーについて研究内容も交えて紹介しました。参加者からは「日々の過ごし方を見直したい。」などの意見もあり、研究室見学も行われとても貴重な機会になりました。

日本語のコミュニケーションと文末表現のはなし

講師：大島義和氏（名古屋大学大学院国際開発研究科 准教授）



「よ」「ね」「って」といった文末表現（終助詞）のはたらきを言語学的な観点から考えてみる講義。普段知る機会のない言語学の研究内容について学ぶ良い機会になりました。意識せずに使っている文末表現の意味を考える機会になったようです。

再生医療と薬のはなし

講師：加藤竜司氏（名古屋大学大学院創薬科学研究科 准教授）



細胞の研究から生まれつつある新しい医療や薬を作る科学について講義が行われました。「脳死移植にたよらない治療ができる時代がきた。」「産業革命が期待できる。」などの声があり、研究の将来が期待できる講義となりました。

動物と植物の生殖のはなし

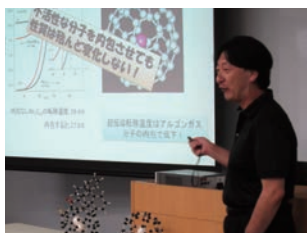
講師：澤田均氏（名古屋大学理学研究科付属臨海実験所 教授）



生命誕生の場である受精は重要な生命現象ですが、機構に関しては不明な点が多く残されています。今回は生殖機構に関する最近の研究を観察しながら、わかりやすく紹介。高校生の参加者は実体顕微鏡で興味深く生殖機構を観察し「将来研究に関わりたい。」と話していました。

未来を拓く新機能性材料の開発のはなし

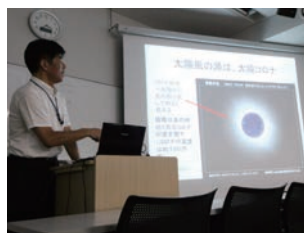
講師：澤博氏（名古屋大学大学院工学研究科 教授）



今まで知られていなかった構造の物質や特殊な機能を持つ物質の発見が、科学を発展させるひとつの原動力です。今回は最近発見された機能性新物質について講義を行いました。若い参加者からは「将来、素材開発に関わりたい、たくさんの物に挑戦したい。」等の意見がありました。

最近の太陽黒点と宇宙天気のはなし

講師：徳丸宗利氏（名古屋大学太陽地球環境研究所 教授）



最近の黒点出現異変と、これに伴う地球周辺の宇宙状態（宇宙天気）の影響について紹介しました。黒点と地球気象の変動についても知ることができ、地球環境を考える機会にもなりました。長期間の観測が必要な太陽観測研究を垣間見る機会になったようです。

名古屋大学 オープンレクチャー 2014

名古屋大学の研究者が行っている
様々な分野の最先端研究を紹介しました。

【概要】

- ◎タイトル 名古屋大学オープンレクチャー 2014
- ◎対象 一般（主に高校生）
- ◎日程 3月21日（金・祝）
- ◎参加者数 160名（申込者数 206名）
- ◎クラス数 7クラス

【実施体制】

主催 学術研究・産学官連携推進本部
（イベント企画・運営管理・チラシ作成・広報）
研究支援課（事務手続き・イベント支援）
広報室（Web サイト作成、大学概要紹介、広報支援）

【当日スケジュール】

15:00～15:20 大学概要説明ほか（理学南館 坂田・平田ホール）
15:30～17:00 公開講座

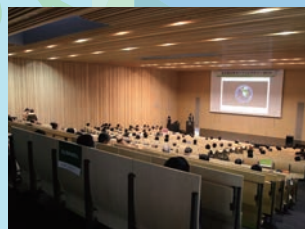
【公開講座一覧】

- ◎上口美弥子氏 植物の生殖戦略と植物ホルモンのはなし
- ◎小島勢二氏 小児血液病における原因遺伝子探しのはなし
- ◎佐々木重洋氏 無形民俗文化遺産の継承と人類社会の未来のはなし
- ◎下村吉治氏 健康のための栄養と運動のはなし
- ◎関隆広氏 光と色のはなし
- ◎東山哲也氏 花の本質を知るはなし
- ◎堀勝氏 プラズマで‘がん’を治すはなし

NU OPEN LECTURE

Nagoya University Open Lecture

一般の方を対象に研究を
わかりやすくお話しします。
少人数の講義スタイルで、大学が、研究者
が、最先端研究が身近に感じられるこの
機会に、ぜひご参加下さい。



名古屋大学概要説明



恒例となった「オープンレクチャー 2014」を3月21日（金・祝）に開催。名古屋大学の先端研究について紹介しました。大学概要説明では広報室から概要のほかにナショナルコンポジットセンターや減災連携研究センターなどのトピックスについての説明がありました。

植物の生殖戦略と植物ホルモンのはなし

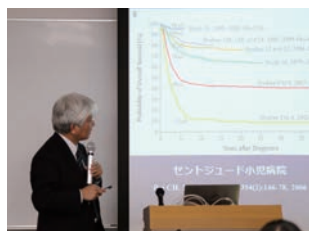
講師：上口美弥子氏（名古屋大学生物機能開発利用研究センター 准教授）



被子植物において伸長促進の代表的な植物ホルモン、ジベレリンが引き起こすシダ植物のエキサイティングな生き残り戦略について紹介。研究室見学も行い、植物ホルモンについて知るまたとない機会となりました。

小児血液病における原因遺伝子探しのはなし

講師：小島勢二氏（名古屋大学大学院医学系研究科 教授）



貧血などの血液病の一部は体細胞遺伝子の変異が原因です。新しい測定技術の開発により、個人の遺伝子をすべて決定することが可能になりました。この新技術が、医学にどのような変革をもたらすかを解説。医療分野での研究の重要性を学ぶ機会となりました。

無形民俗文化遺産の継承と人類社会の未来のはなし

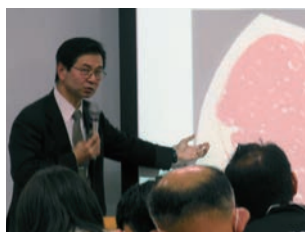
講師：佐々木重洋氏（名古屋大学大学院文学研究科 准教授）



文化遺産は、地域ごとに多様な展開をとげた人類の英知の結晶です。これらの「生きた継承」は、未来の人類社会のあるべき姿の構想につながります。愛知県奥三河の花祭の事例を交えて紹介。人文社会研究の奥深さを感じられる講義となりました。

健康のための栄養と運動のはなし

講師：下村吉治氏（名古屋大学大学院生命農学研究科 教授）



健康を維持するためには栄養と運動が重要ですが、食事の仕方や運動の効果などの科学的な情報はあまり普及していません。肥満や高齢者の筋肉減弱（サルコペニア）に有効な栄養と運動について解説しました。参加者の生活にすぐに活かせる講義となりました。

光と色のはなし

講師：関隆広氏（名古屋大学大学院工学研究科 教授）



光をあてることで分子の形が変わる風変りな色素があります。最近それらの色素を用いて材料を動かすなど、新たな機能が生み出されています。光と色素が関わる最新の研究を紹介。参加者から将来の研究成果に期待する声が聞かれました。

花の本質を知るはなし

講師：東山哲也氏（名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所 教授）



精密な仕組みにより一つでも多くの種子を作ろうとする、花の本質を、世界初の映像をもとに解説し、新しい品種改良法について紹介しました。最先端の顕微鏡施設も見学し、参加者からは花の奥深さを知ることが出来た、研究に携わりたいたいと言った意見が出ていました。

プラズマで‘がん’を治すはなし

講師：堀勝氏（名古屋大学大学院工学研究科 教授）



オーロラなどの電離気体であるプラズマを常温常圧で発生させて、生体に照射することによって、がんが死滅するなどの画期的な効果が見つかりました。プラズマを使った未来医療の魅力を紹介され、プラズマの知られていない特徴を知る機会となりました。

名古屋 スペースキャンプ 2013 NSC-2

宇宙航空研究開発機構（JAXA）が主催し、宇宙開発に関心のある学生を対象に7月28日から4日間にわたって開催されました。講義や演習、施設見学を通し、日本の宇宙開発について理解を深めてもらうことを目的としています。

【主催・共催・協賛】

主催 JAXA

共催 名古屋大学、名古屋市科学館

協賛 三菱重工業株式会社

【内容】

7月28日（日） オリエンテーション、講義、ラネタリウム鑑賞、名古屋市科学館見学、飛行機作製

7月29日（月） 名古屋大学・研究室見学、三菱重工・名航・飛鳥工場見学・モデルロケット作製

7月30日（火） 三菱重工・名誘・本工場見学、三菱重工・名航・小牧南史料室見学、モデルロケット打ち上げ

7月31日（水） ミッション報告会

【対象】

小学5年生～中学3年生

【参加者数】 24名

理学研究科 U 研究室

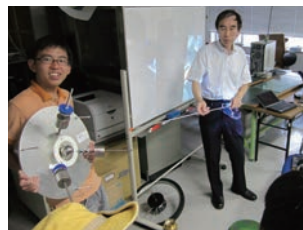
講師：金田英宏氏（名古屋大学教授） 松本浩典氏（名古屋大学准教授）



理学研究科では金田英宏教授から次世代の赤外線・X線天文衛星プロジェクトや観測器についての説明を受け、赤外線望遠鏡の主鏡の実物などを見学。松本浩典准教授から解説を受けながらX線望遠鏡の見学しました。

工学研究科 制御システム工学研究グループ

講師：山田克彦氏（名古屋大学 教授）



山田先生から宇宙空間で衛星などの姿勢制御について説明を受け、姿勢制御に使うジャイロを体験し、制御システムなどをさわりながら仕組みを教わりました。参加者は制御システムの動きに驚きながら先生の話に質問も交えて聞いていました。

工学研究科 推進エネルギーシステム工学研究グループ

講師：長野方星氏（名古屋大学 准教授）



宇宙環境での熱制御を中心に宇宙環境から機材を守るシステムについて長野先生が説明しました。宇宙環境を再現する装置や、熱などから衛星を守る素材を観たり、触らせてもらいました。

工学研究科 電離気体力学研究グループ

講師：横田茂氏（名古屋大学 助教授）



次世代の宇宙推進装置である電気推進機について、横田茂先生がお話しました。ロケットが進む仕組みから、火星などを目指すロケットの推進器として期待される電気推進機についての説明の後、研究室を見学しました。

モデルロケット打ち上げ実験

豊田講堂前広場（打ち上げ現場）



豊田講堂前広場でモデルロケットの打ち上げ。自分で作った火薬を使ったモデルロケットが上がる様子を見ながら参加者は一喜一憂していました。最後に國枝秀世副総長が「失敗をすることも研究の中では大事」と声をかけていました。



ネットワーク中心企画 市民向け講演会

先端科学技術と社会

私達の生活に密着するようになった科学技術。日本を代表する研究者が、社会と科学技術の関わりについてお話しする、週末の午後のあいちサイエンスフェスティバル2013メインイベントです。科学技術の現状や課題について、参加者の意見も聞きながら進めました。この中心企画はビデオアーカイブをウェブ上で公開しています。

【名古屋大学以外の講師の講演会】

- ・名古屋栄地区メインイベント
- 10月26日(土) ～科学技術で拓くあいちの未来～産業、暮らしの姿
大村秀章氏(愛知県知事)
- 11月2日(土) COP10“愛知ターゲット”とあいち生物多様性戦略2020
山本進一氏(岡山大学理事・副学長、名古屋大学名誉教授)
- 11月4日(月・休) 未踏のフロンティア・深海底下の世界
東垣氏(海洋研究開発機構 地球深部探査センター長)
- ・蒲郡地区メインイベント
- 10月6日(日) 蒲郡から宇宙へ アノロマ宇宙へ行く!～宇宙から地球を見てみよう～
「アノロマ宇宙へ行ってきました」成果報告シンポジウム2013
- 10月12日(土) 先端科学技術と社会～宇宙、人間、素粒子～
小柴昌俊氏(平成基礎科学財団理事長、東京大学特別荣誉教授、2002年ノーベル物理学賞)
- 11月2日(土) 放射光とは ～イトカワ微粒子の分析にも活躍～
中尾裕則氏(大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構(KEK) 准教授)



【名古屋栄地区メインイベント】

～21世紀の日本と名古屋大学～わたしたちの時代・若者の未来

- 開催日時：2013年9月28日(土) 14:30-17:30
- 開催場所：三井住友銀行 SMBC パーク 栄(名古屋市)
- 講師：濱口道成氏(名古屋大学 総長)
- 挨拶：内木幸宏氏(三井住友銀行 SMBC パーク 栄 支配人)
- 司会：吉田千穂氏(名古屋大学 URA 室)

あいちサイエンスフェスティバル2013のグランドオープニング講演会として、名古屋大学の濱口総長が講演しました。21世紀の日本は各地方の中核都市の重要性が高まっており、若者が集う大学はその活力源となっています。教育、研究、社会貢献という大学の機能を通じて、地域で活躍し世界に羽ばたく「勇気ある知識人」を育てる方策などを、豊富な資料をもとに語りました。



【蒲郡地区メインイベント】

はやぶさ2～海と生命の源を目指して～

- 開催日時：2013年9月28日(土) 14:30-17:30
- 開催場所：蒲郡市生命の海科学館
- 講師：渡邊誠一郎氏(「はやぶさ2」プロジェクトサイエンティスト/名古屋大学 環境学研究科 教授)

話題になった小惑星探査機「はやぶさ」の後継機として現在開発中の「はやぶさ2」について紹介しました。水と有機物を地球にもたらした可能性のあるC型小惑星の1つに行き、表面の物質を地球に持ち帰る計画です。未知の天体を探るための観測装置や天体の表面にクレーターを作って、地下の物質を採取するための小型衝突装置について話がありました。

SAKAE ScienceTalk

さかえサイエンストーク

科学技術をはじめ、ものづくりやカルチャーまで、広くサイエンスの話題を取り上げた専門家との交流イベント。あいちサイエンスフェスティバルの期間中、平日に毎夜開催しました。舞台は、名古屋の中心栄地区にあるイベントスペース、書店、飲食店。各分野の若手から中堅を中心としたゲストが集合。参加者とのトークに花を咲かせました。双方向コミュニケーションに電子投票機を利用するなどの試みも行なっています。

【開催場所】

名古屋テレビ塔スカイデッキ

名古屋市中区錦 3-6-15

ジュンク堂書店ロフト名古屋店 7F ブックサロン

名古屋市中区栄 3-18-1 ナディアパーク7F

文化系飲食店「ボクモ」

名古屋市中区栄 5-26-39

三井住友銀行 SMBC パーク 栄

名古屋市中区錦 3-25-20

【各回共通事項】

◎開催時間 18:30-20:00 (18:00 開場、途中入退場可)

◎当日先着 30 名程度・参加無料

(※1 ただし名古屋テレビ塔会場のみスカイデッキ入場料が必要。フェス割引あり。※2 文化系飲食店「ボクモ」会場では 1 品以上の飲食注文が必要。)

【週がわりテーマ】

9/30~10/ 4 あいちメディカルウィーク

10/ 7~10/11 あいちキュレーターズウィーク

10/14~10/18 あいちバイオ・環境ウィーク

10/21~10/25 あいちものづくりウィーク

10/28~11/ 1 あいち環境・生物多様性ウィーク



2013 年 9 月 30 日 (月)

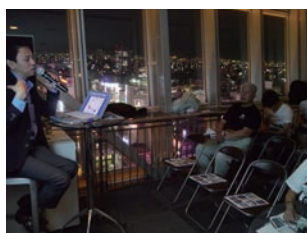
名古屋テレビ塔スカイデッキ

<https://aichi-science.jp/1184>

脂肪由来幹細胞を用いた新規治療法の開発

ゲスト：丸山彰一氏 (名古屋大学 医学系研究科 腎臓内科 准教授)

ファシリテーター：寺島彰氏 (名古屋大学学生 / あいち SC セミナー受講者)



あいちサイエンスフェスティバル 2013 におけるさかえサイエンス トーク連続開催 25 回の初回に 名大病院の丸山氏が登場。脂肪 のもつ不思議な働きを詳しく説明 し、新たな治療法確立に向けた 展望も語りました。

2013 年 10 月 18 日 (金)

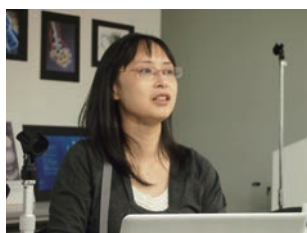
三井住友銀行 SMBC パーク 栄

<https://aichi-science.jp/1214>

ハエから学ぶ“愛の歌”を感じるしくみ

ゲスト：上川内あづさ氏 (名古屋大学 理学研究科 教授)

ファシリテーター：太田航氏 (名古屋大学博士課程院生 / あいち SC セミナー受講者)



ショウジョウバエの研究により脳 の機能の解明がどの程度すすん でいるかを解説しました。音が 持つ意味を理解する仕組みを知 る研究の概要を説明し、その最 新成果を紹介しました。

【プレ企画】2013 年 9 月 25 日 (水) 三井住友銀行 SMBC パーク 栄

<https://aichi-science.jp/1192>

世界の化学～新元素の名前とシンボルを決める～

ゲスト：巽和行氏 (名古屋大学 物質科学国際研究センター 特任教授 / 国際純正・ 応用化学連合 (IUPAC) 会長)

ファシリテーター：渡邊真由美氏 (名古屋大学 URA 室 / 名古屋大学トランスフォーメーション 生命分子研究所 (ITbM) リサーチ・開発部門)



国際純正・応用化学連合の紹介 からはじめ、元素の発見史のほ か、国際純正・応用物理学連合 との協議のうえで元素記号を決 める現在のシステムを詳しく解説 しました。

(プレ企画、マリー・キュリー業績ポスター展記念)

2013 年 10 月 11 日 (木)

文化系飲食店「ボクモ」

<https://aichi-science.jp/549>

テントウムシの羽と模様学ぶ

ゲスト：新美輝幸氏 (名古屋大学 生命農学研究科 助教)

ファシリテーター：笹原悟氏 (サイエンス・サポート函館・科学楽しみ隊)



テントウムシの羽の形成と模様か ができるメカニズムについて最新研 究を紹介しました。羽を作り出 す分子を特定して作り出した羽の ないテントウムシなどの実例を紹介。害虫を食べるテントウムシが 一か所にとどまる生物農薬の可 能性について解説しました。

2013 年 10 月 11 日 (木)

三井住友銀行 SMBC パーク 栄

<https://aichi-science.jp/1236>

アジアの氷河マップづくり

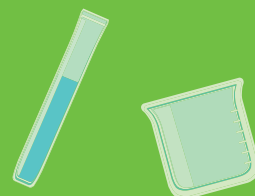
ゲスト：坂井亜規子氏 (名古屋大学大学院環境学研究科 特任助教)

ファシリテーター：金森昌作氏 (公立はこだて未来大学 特別研究員 / はこだて 国際科学祭コーディネーター)



アジア高山域の氷河マップ作成の トークを展開。氷河ができて移 動するメカニズム、氷河マップ作 成の手法と難しさなどを紹介。2 台のプロジェクターとスクリーン により、説明用スライドと実際の 氷河マップを映し説明しました。 (はこだて国際科学祭との交流企画)

学外アウトリーチ活動、その他



2013年6月2日(日)

大西卓哉 JAXA 宇宙飛行士講演会

ゲスト：大西卓哉氏（国際宇宙ステーション搭乗 JAXA 宇宙飛行士）
会場：名古屋大学 豊田講堂（名古屋市中種区不老町）



名古屋国際会議場を中心に開催の「第29回宇宙技術および科学の国際シンポジウム（第29回 ISTS）」の一般向けイベントとして、大西卓哉 JAXA 宇宙飛行士講演会が開催されました。宇宙飛行士の活動や訓練、大西さんの宇宙飛行士選抜試験についての話や質問コーナーで構成。参加者からの質問「一番厳しかった訓練は？」には「野外チームワーク訓練は厳しい訓練であったが楽しかった。厳しい訓練はその後生きてくる。」など実感を伴った回答がありました。

2013年8月24日(土)

キッズボタニカル・ラボ

ゲスト：瀬上紹嗣氏（名古屋大学大学院生命農学研究科細胞ダイナミクス研究室 研究員）
会場：東山動植物園植物会館研修室（名古屋市中種区東山元町3-70）



オオカナダモを用いて、様々な条件下における光合成量の違いを実験で確認しました。参加者自身が仮説を立て、実験方法を考え、実際に操作することで、楽しみながら学んでいただけたようです。

2013年10月6日(日)

アノロ宇宙へ行く！～宇宙から地球を観てみよう2013～成果報告シンポジウム

ゲスト：佐原理氏（名古屋文理大学 情報文化学部 情報メディア学科 助教）
坪木和久氏（名古屋大学 地球水循環研究センター 教授）
会場：蒲都市生命の海科学館（蒲都市港町17-17）



蒲都市生命の海科学館は2012年より、名古屋文理大学、名古屋大学地球水循環研究センター、明星電気株式会社とともに、気象観測用気球に搭載したiPhoneやデジタルカメラによる、成層圏からの地球の撮影に挑戦してきました。この度、地上25000メートル（成層圏）からの地球の映像を含む、気球打ち上げから回収までの全工程の撮影に成功しました。撮影された映像を初公開しました。

2013年8月18日(日)

第24回英国科学実験講座 クリスマスレクチャー2013

ゲスト：ピーター・ウォザーズ博士
篠原久典氏（名古屋大学理学研究科教授）
会場：名古屋大学 豊田講堂（名古屋市中種区不老町）



クリスマスレクチャーは、英国ロンドンにおいて Royal Institution（英国王立研究所）が主催する科学実験講座です。本国では1826年以来、毎年行われており、日本では読売新聞とプリティッシュカウンシルが主催して「英国科学実験講座として」開催しています。名古屋大学は8月18日、豊田講堂で開催された本イベントに共催し、社会貢献活動を行うと共に研究者のアウトリーチも行いました。

2013年9月25日(水)～9月30日(月)

マリー・キュリー業績ポスター展

会場：三井住友銀行 SMBCパーク 栄 2階イベントギャラリー（名古屋市中区錦3-25-20）



名古屋大学物質科学国際研究センターが管理する、仏キュリー博物館マリー・キュリー氏ノーベル賞100年記念展示を公式に日本語化したポスター展示キット。世界化学年2011の成果を活かせるように、あいちサイエンスフェスティバルから全国のサイエンスフェスティバルへ出展。昨年度末からは全国の科学館や高校への巡回展示も推進中です。

2013年11月9日(土)～11月10日(日)

サイエンスアゴラ2013

会場：日本科学未来館（東京都江東区青海2-3-6）



サイエンスアゴラ2013では、今年の開催報告とともに、研究アウトリーチの義務化にともなう研究者の支援体制構築や、地域と連携した活動展開を紹介し、科学コミュニケーションに携わる人たちと、手法開発や今後の方向性についての情報交換や、大学の役割と地域貢献・アウトリーチについて有用な意見交換ができました。

展示会への出展実績

イベント名(会場)	開催日	出展内容	説明要員
	2013年	・技術相談ブース	URA1名(技術相談ブース) CD3名(技術相談ブース)
テクノ・フェア名大 (名古屋大学)	9月6日(金)	・「名古屋大学ナノテクプラットフォーム(NPF)の紹介」 (※豊田工大のポスター・サンプルも展示)	URA1名 研究者2名 分子物質NPF担当教員1名 岩田研・研究員1名 超高压電頭事務局1名
第3回おおた研究・開発フェア (東京都:大田区産業プラザ)	10月3日(木) 10月4日(金)	「マイクロ波による高密度・基材近接プラズマ生成とその応用」上坂准教授	URA1名 CD1名 研究者1名 PD1名
Tech Biz EXPO 2013 (愛知県:ポートメッセ名古屋)	10月9日(水) 10月11日(金)	「名古屋大学ナノテクプラットフォーム(NPF)の紹介」 (※豊田工大のポスター・サンプルも展示)	URA1名 分子物質NPF担当教員1名 岩田研・研究員1名 超高压電頭事務局1名 研究者3名(1名は豊田工大) 産連2名(豊田工大)
アグリビジネス創出フェア 2013 (東京都:東京ビックサイト)	10月23日(水) 10月25日(木)	「米焼酎を活用したカンボジアの地域開発」 伊藤香純 准教授	URA2名 CD1名 研究者1名 学生1名
愛知・名古屋産業交流会 (東京都:東京ビックサイト)	10月30日(水) 11月1日(金)	「名古屋大学ナノテクプラットフォーム(NPF)の紹介」 「シンクロトン光研究センターの紹介」	URA2名 CD1名 CD1名(JST)
メッセナゴヤ 2013 (愛知県:ポートメッセ名古屋)	11月13日(水) 11月16日(土)	「名古屋大学ナノテクプラットフォーム(NPF)の紹介」 (※豊田工大のポスター・サンプルも展示)	URA1名 研究者3名 分子物質NPF担当教員1名 岩田研・研究員1名 超高压電頭事務局1名 CD1名(JST)
第36回日本分子生物学会年会 2013 (兵庫県:神戸ポートアイランド)	12月3日(火) 12月5日(木)	「名古屋大学ナノテクプラットフォーム(NPF)の紹介」	URA1名 研究者3名 超高压電頭事務局1名 CD1名(JST)
	2014年		
nano tech 2014 (東京都:東京ビックサイト)	1月29日(水) 1月31日(金)	「名古屋大学ナノテクプラットフォーム(NPF)の紹介」	URA1名 研究者4名 分子物質NPF担当教員1名 超高压電頭事務局1名 CD1名(JST)
第5回とよたビジネスフェア 2014 (愛知県:スカイホール豊田)	3月5日(水) 3月6日(木)	「県内4機関のナノテクプラットフォーム(NPF)の紹介」	URA1名(名大) 研究者1名(名大) 分子物質NPF担当教員1名(名大) 分子研NPF担当者2名(名大) 超高压電頭事務局1名(名大) 研究者2名(名工大) 産連2名(豊田工大) CD1名(JST)
日本化学会 第94回春期年会 2014 (名古屋大学)	3月27日(木) 3月29日(土)	「名古屋大学ナノテクプラットフォーム(NPF)の紹介」	



名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部（旧 URA 室）
TEL : 052-747-6791 FAX : 052-747-6002 E-MAIL : outreach@aip.nagoya-u.ac.jp